

B-1 評価計画

学習活動と評価計画

	学習活動	評価の観点				評価規準
		関	思	技	知	
1 時 間	オリエンテーション ・種目や技の説明 ・個人カードの説明 ・ビデオの視聴 ・安全指導	●				器械運動の特性や理論に関心を持ち、安全に留意しようとする。
					●	器械運動の技の系、技群、グループを理解すると共に器械・器具の安全を確かめ、互いに補助の方法を理解する。
6 時 間	全体学習 男子：鉄棒・平行棒・跳び箱・マット・床倒立歩行・登攀 女子：平均台・跳び箱・マット・床・創作ダンス・手具体操手押し車	●				器械運動に関心を持ち、仲間と協力して補助し合い、教え合い励まし合って技の達成を求める器械運動の楽しさを味わおうとする。
					●	各種目の技を練習し、自己の能力に応じた技を身につけ、できる技を繰り返して、安定させることができる。
5 時 間	グループ学習 ・グループを編成し、リーダーを中心に練習 ・過去のビデオを活用 ・個人カードを活用し、相互評価		●			自己や仲間の課題を発見し、課題解決の方法を選んだり、見つけたりして、自分の能力に適した技の習得の工夫をしている。
					●	自己の能力に応じた技を身につけ、互いに補助し合い、技能をより高め、演技することができる。
5 時 間	習熟度別学習 ・習熟度別にグループを編成し、それぞれの種目や技の課題練習 ・ビデオカメラを活用	●				仲間と協力して補助し合って教え合い、良い雰囲気練習の場を作り、良いところをほめ合い、「できる」楽しみや喜びを共有して取り組もうとする。
			●			自分の能力に応じた課題について、練習の仕方や演技の構成を工夫している。
5 時 間	選択学習 ・得意種目を選択し、グループ編成をして練習 ・体操大会出場メンバーでチーム練習 ・個人カードを活用し、相互評価				●	できる技は、くり返し練習して安定性を高め、レベルの高い技を身につけるとともに連続技を習得し、演技することができる。
					●	練習の仕方や段階指導法、そして良い場の作り方を理解すると同時に、技のできばえを公正に相互評価をしている。また、安全性にも配慮し、互いの技を磨く方法について考えを述べている。

関：関心・意欲・態度

思：思考・判断

技：運動の技能

知：知識・理解